

令和3年度 5号



有志竟成

浜松市立北浜中学校
学校だより
令和3年8月 日

校訓：志を強くもってことにあたれば竟には成しとげられる

今日、2回目の「緊急事態宣言」下ではありますが、2学期がスタートしました。昨年4月に出された1回目の「緊急事態宣言」下との大きな違いは、「学校は、休校にはしない」言い換えれば、「可能な限りの感染防止対応をしながら、学校の教育活動を進める」ということです。このことにつきましては、保護者や地域の皆様にも、いろいろな思い・考えがあるだろうと認識しています。ただ、この1年半の間、コロナと向き合い・様々な対応をしてきた中で示された国や市の決定です。学校としては、この決定を踏まえ、子ども達と教員が一つになって、保護者や地域の皆様からの御協力をいただきながら、地に足をつけ、力強く教育活動を進めていくしかないと思っています。よろしくお願い致します。

校長 渥美 竜三

2学期始業式「コロナとどう関わり やりぬいていくか」

校長式辞抜粋

さて、学校で行う主な教育活動に「授業、行事、部活動」の3つがありますが、もし、3つに優先順位をつけるとすれば皆さんはどのような順位をつけますか？

人によってこの順位は違うのかもしれないですね。どれも大切なものの価値あるので、順位をつけるという質問自体よくなかったかもしれないですね。ただ、現在のような状況の中では、優先順位をつけて対応しなければならないこともあり得ます。答は、・・・1番：授業、2番：行事、3番：部活動 です。えっと感じた人は、ぜひ理由を考えてみてください。

今、我々（生きているすべての人）に与えられた課題は、「コロナとどう関わりながら、やりぬいていくか」ということではないでしょうか。この後、学活で「感染防止対応」について、再確認する場が設定されています。

・・・中略・・・

この「感染防止対応」についての思いを3つ伝えます。

- 1 デルタ株の感染力が、これまでのウイルスの2倍と言うのであれば、感染防止対応とその意識を、今までの2倍にする必要がある。
- 2 ウルトラC的な感染防止対応はあるのか。人のことを言う前に、自分はどうなのか。今までやってきた、言われてきた基本的な対応を本気でやる。精度を上げる。
- 3 感染防止対応は、自分が感染しないため、そして、自分が他人を感染させないためである。ただ、万全を尽くしたとしても感染する可能性は誰にもある。だからといって何もしなければどうなるか。

こんな言い方だとピリピリした緊張感・負担感を感じてしまうかもしれませんね。感染防止対応は、すでに特別なことではなく当たり前のこととして受け入れる必要がある、いやもうなっているのではないのでしょうか。この対応を、自然体で、批判でなく前向きな声を掛け合いながら、進めていければ素晴らしいと思います。お互いに人として成長できる2学期にしていきましょう。